



はちのす

木戸小学校学校だより

令和7年12月16日

No.288



12月に寄せて

校長 長谷川 嘉彦

朝、登校してくる子どもたちの吐く息が、白く空に溶けていきます。寒いせいか、友達の手をぎゅっと握りしめながら登校してくる子どももいます。そんな光景に、冬の訪れを感じます。この季節になると、学校の空気が少しだけ静かに、そして、温くなるような気がします。12月らしさを感じます。

12月是一年の終わりであり、次の年への扉口でもあります。春に芽吹いた命が夏に伸び、秋に実り、冬にそっと休むように、子どもたちもまた、この一年でたくさんのことを学び、感じ、成長してきました。

教室をのぞくと、自分の考えを最後まで頑張って話そうとする子どもの姿があります。体育館では、何度も何度も跳び箱に挑戦する子どもがいます。清掃時間には、誰かに言われたわけでもなく黙々と清掃をする子どもがいます。そんな日々の積み重ねが、子どもたちの中に確かな「根っこ」を育てているのだと感じます。学びの成果を確認し、自分自身を見つめ直す機会が12月には隠されています。

また、12月は「感謝」の月でもあります。おうちの人、友達、地域の方々とたくさんの人に支えられて、子どもたちは今日も笑顔で過ごしています。ある教室には、友達のよかったところや一緒に頑張ったことが書かれたカードが掲示されていました。「いつも優しくしてくれてありがとう」「〇〇を教えてくれてありがとう」…中には、担任の先生に「いつも、クラスをまとめてくれてありがとうございます」というメッセージを書いている子どももいました。また、ある教室では、「にこにこをみつけたよ」というカードが掲示されていました。「食器洗いをしたら、おうちの人がありがとうと喜んでくれました」「靴を並べると、おうちの人がいっこりします」と、家族の喜ぶ顔を嬉しく思っている子どもの思いが伝わります。子どもたちは、言葉にして伝えることの大切さを少しずつ学んでいます。

そして、12月は「希望」の月でもあります。新しい年を迎える準備をしながら、子どもたちは「来年はもっと頑張ろう」「新しいことに挑戦してみよう」と未来に目を向けます。冬の寒さの中で芽吹きを待つ木々のように、子どもたちの心にも次の成長の芽が宿っています。その芽を大切に育て、励まし、支えていくことが私たち大人の役割だと思っています。希望をもつことは困難を乗り越える力となります。そんな未来を切り開く力を育てていきたいと思います。子どもたちが今年を振り返り、どんな新年のめあてを立ててくるのか、とても楽しみです。

今年も、子どもたちの笑顔とともに、たくさんの季節を歩んできました。春の風、夏の光、秋の実り、そして今、冬の静けさの中で、また新しい芽が育ち始めています。

さて、もうすぐ冬休みです。冬休みは、子どもにとって心身を休める大切な時間です。家族と過ごすひととき、地域の行事に参加する経験、読書や趣味に打ち込む時間…そのすべてが子どもの心を豊かにします。冬休みの間も生活のリズムを整え、健康に気を配りながら充実した時間を過ごしてほしいと願っています。新年を迎えるとき、子どもが笑顔で「今年も頑張ろう」と言えるように、私たち大人が温かく支えていきたいものです。

保護者の皆様、地域の皆様、今年一年の温かなご支援に心より感謝申し上げます。どうぞ、穏やかな年末年始をお迎えください。そして、来年もまた、子どもたちとともに季節の歩みを重ねていきたいと思っています。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



心わくわく絵画展

10月15日～23日に「心わくわく絵画展」が開催され、校舎内に子どもたち一人一人が描いたすてきな絵画が展示されました。

初日には、全校鑑賞会が行われ、「上手だね。」「すてきだね。」という子どもたちの声が飛び交いました。また、併せて個人懇談の期間だったため、多くの保護者の皆様にも絵画を見ていただくことができました。子どもたちの感性が光る、すばらしい絵画展となりました。



木戸っ子祭り

11月28日（金）に児童会行事「木戸っ子祭り」が行われました。「木戸っ子祭り」は、3年生以上の各学級が出店を作り、全校児童がその出店を回って、みんなで楽しむ児童会祭りです。当日の朝行われたオープニングでは、1年生が元気いっぱいの歌を披露し、祭りのスタートを宣言してくれました。

どの学級も、当日を迎えるまでにたくさん話し合いや準備を進めてきていました。うまくいかないことも多々あったと思いますが、学級みんなで乗り越えてきたからこそ、本番では、「自分たちの出店を成功させたい。」「お客さんに楽しんでもらいたい。」という思いをもって、どの子も張り切って自分の役割に取り組むことができました。また、出店を回る際には、同じ木戸っ子班のペアの子と仲良く楽しむ姿が見られました。その日のお昼の放送では、2年生の代表児童の子たちが、すてきな感想を発表してくれました。

学校中に笑顔があふれ、木戸っ子たちの絆をさらに深めた一日となりました。

